

# 週間漁海況情報—第38号

平成22年10月4日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/taffts/sc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究所

## 1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H22.10.4）を示した。

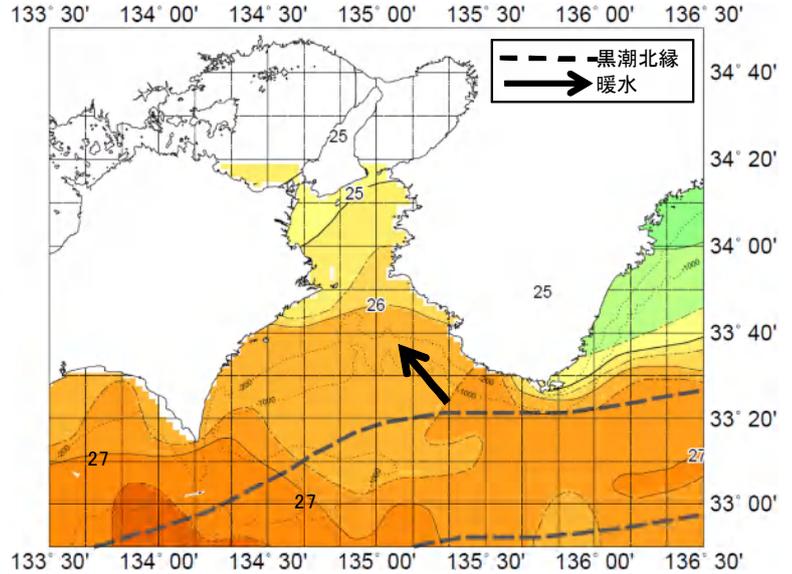
黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。室戸岬以西では、都井岬沖でやや離岸、足摺岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、26～27℃台である。

徳島沿岸の表面水温は、播磨灘が24～25℃台、紀伊水道で25℃台、海部沿岸で25～26℃台である。

紀伊水道外域では、先週末頃に見られた室戸岬と潮岬を結ぶ中央付近から室戸岬周辺に向けた暖水波及が消失した。現在は、和歌山県沿岸からゆるやかな暖水流入がある。

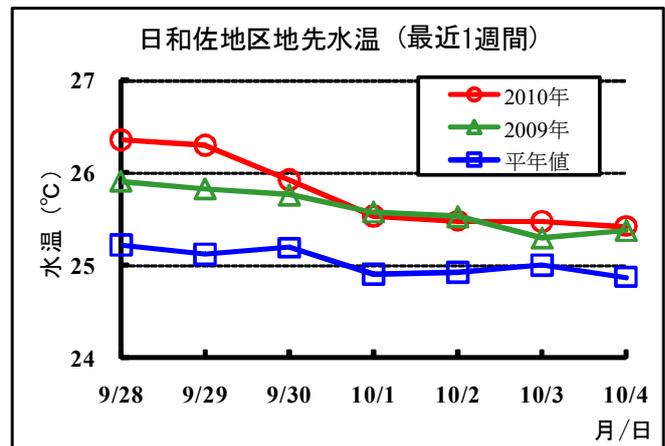
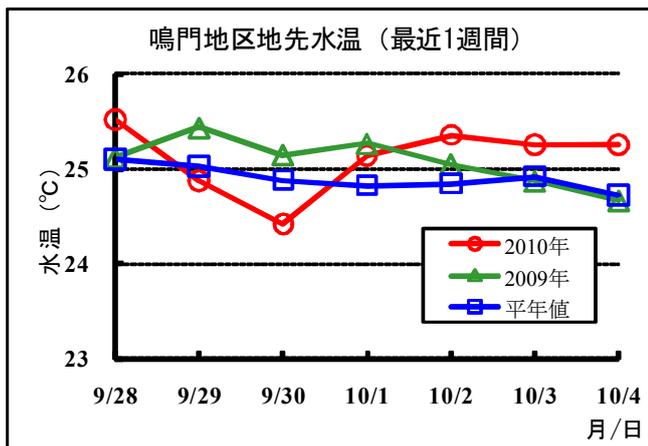
漁業調査船「とくしま」により10月1日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は表層～30m層で「やや高め」の25.9～26.2℃であった。



### 播磨灘海区観測結果

観測日		水 温				塩 分			
		表層	10m	20m	30m	表層	10m	20m	30m
10/1	今年値	26.2	25.9	25.8	25.9	31.9	31.9	31.9	32.2
	平年偏差	1.3	1.2	1.1	1.2	0.2	0.1	0.1	0.2
	前年偏差	2.6	2.6	2.5	2.5	-0.4	-0.3	-0.3	-0.1

**地先水温** 最近約1週間の地先水温は、鳴門地区で「やや低め」～「やや高め」の24.4～25.5℃、日和佐地区で「やや高め」の25.4～26.4℃、牟岐地区は「やや高め」～「高め」の25.9～26.7℃で推移した。



\* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

## 2. 漁況の経過

小型定置網：海部沿岸で、アオリイカが0.1トン(1日1隻当たり6kg)、カマス類が0.3トン(同14kg)、サワラが0.1トン(同5kg)、ヒラソウダが0.3トン(同12kg)、小主体にマアジが0.3トン(同14kg)、小主体にマルアジが0.3トン(同13kg)水揚げされた。

釣り：紀伊水道で、中主体にタチウオが0.2トン(同15kg)水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが31.2トン(同325kg)水揚げされた。

漁業種類別集計表(抜粋) 09月27日～10月03日

県下5漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	アオリイカ	24	143	6	
		カマス類	24	332	14	
		サワラ	24	124	5	
		ヒラソウダ	24	294	12	
		マアジ	24	333	14	小主体
		マルアジ	24	309	13	小主体
釣り	紀伊水道	タチウオ	11	162	15	中主体
パッチ網		シラス	96	31,200	325	

週間予報：黒潮は室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「平年並み」の24℃台、日和佐地先は「やや高め」の24℃台後半～25℃台で推移する見込み。

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年度の10月5日～11日には、海部沿岸の小型定置網で小主体にヒラソウダ0.8トン、釣りでタチウオ1.3トン、紀伊水道の釣りで中主体にサワラ0.8トン漁獲されていた。